

平成28年3月29日(火)  
国土交通省九州地方整備局  
鹿児島国道事務所

## 記者発表資料

こくぶ しきね  
国道10号国分敷根交差点がわかりやすくなりました。  
～ 標識と路面のカラー化により「わかりやすさ」と「安全性」が向上 ～

○国土交通省鹿児島国道事務所では、「事故ゼロプラン<sup>※</sup>」に位置づけられている霧島市の国道10号国分敷根交差点改良工事を行ってまいりましたが、このたび平成28年2月に工事が完成しました。整備内容と整備効果は次のとおりです。

## 《整備内容》

国分敷根交差点における標識と路面のカラー化の実施

- ・路面舗装をカラー化
- ・路面カラーや交差点形状に合わせた道路案内標識の見直し



## 《整備効果》

アンケート調査による利用者の声 (調査期間：H28.3.9～14)

- ・ドライバーへの**わかりやすさが向上**したと実感 **約8割**
- ・ドライバーの**安全性が向上**したと実感 **約8割**
- ・交差点改良への**満足度** **約7割**

※「事故ゼロプラン」とは、国土交通省が取り組む「事故危険区間解消作戦」のことであり、交通事故が多発する特定の区間等に対して、集中的・重点的に交通事故対策を実施することで、交通事故の撲滅を目指す取り組みです。

## 【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所

電話：099-216-3111(代表)

技術副所長 ヒナゴ 日名子 ノヒロ 信広 (内線 204)

交通対策課長 ナカモト 中元 シンイチ 慎一 (内線 471)

# 参考資料(1) 事業概要 鹿児島国道事務所

- ・国道10号の国分敷根交差点は、<sup>こくぶ しきね</sup>交差点内で迷う車が多い傾向がありました。また、案内標識の交差点形状が、実際の形状と異なっていたことなどから、観光等で初めて当該交差点を通行する利用者が迷うことで、追突事故等が発生していました。
- ・目的地となる国道10号及び国道220号に適切に誘導案内し、迷走等を低減するように、標識と路面のカラー化を行い、平成28年2月に工事が完成しました。
- ・主目的である案内誘導を確実に行うことで、交通事故減少にも貢献すると思われ、「わかりやすさ」と「安全性」の向上が期待されます。



**路面カラーや交差点形状に合わせた道路案内標識の見直し**

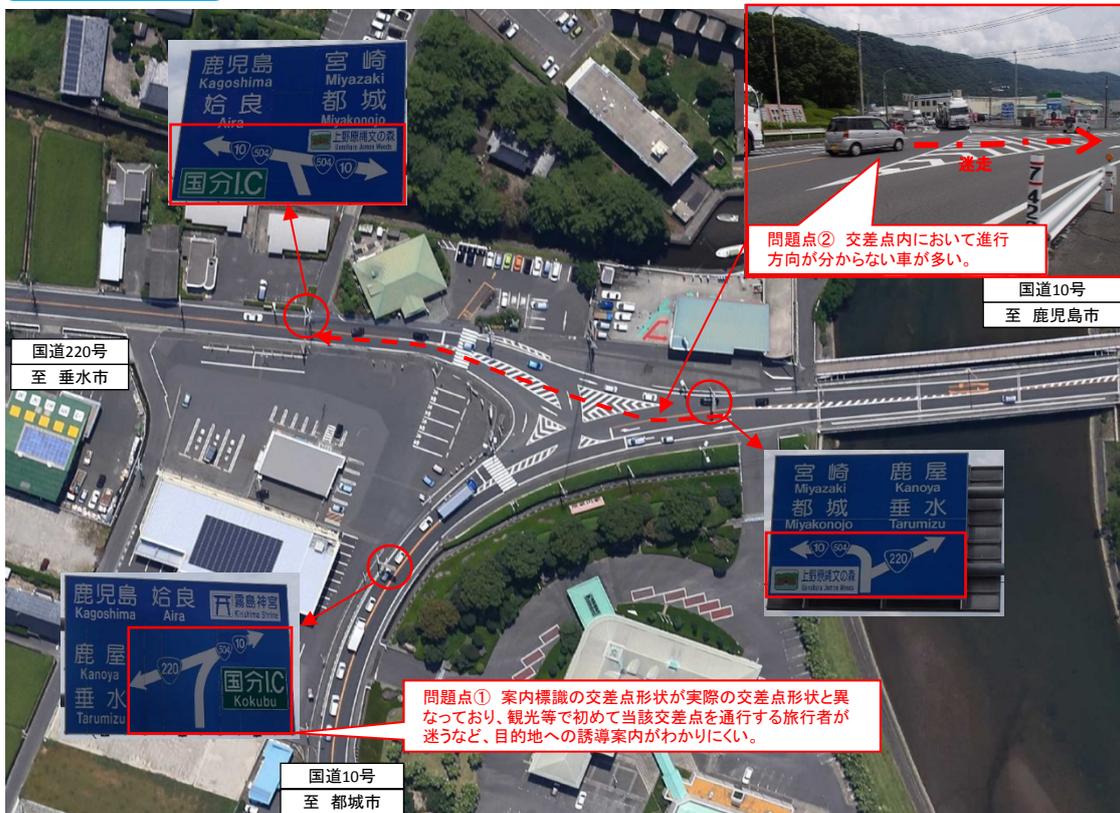
|                     |   |  |
|---------------------|---|--|
|                     | → |  |
| 鹿児島方面⇒都城・垂水方面へ向かう標識 |   |  |
|                     | → |  |
| 都城方面⇒鹿児島・垂水方面へ向かう標識 |   |  |
|                     | → |  |
| 垂水方面⇒鹿児島・都城方面へ向かう標識 |   |  |

**路面舗装のカラー化**

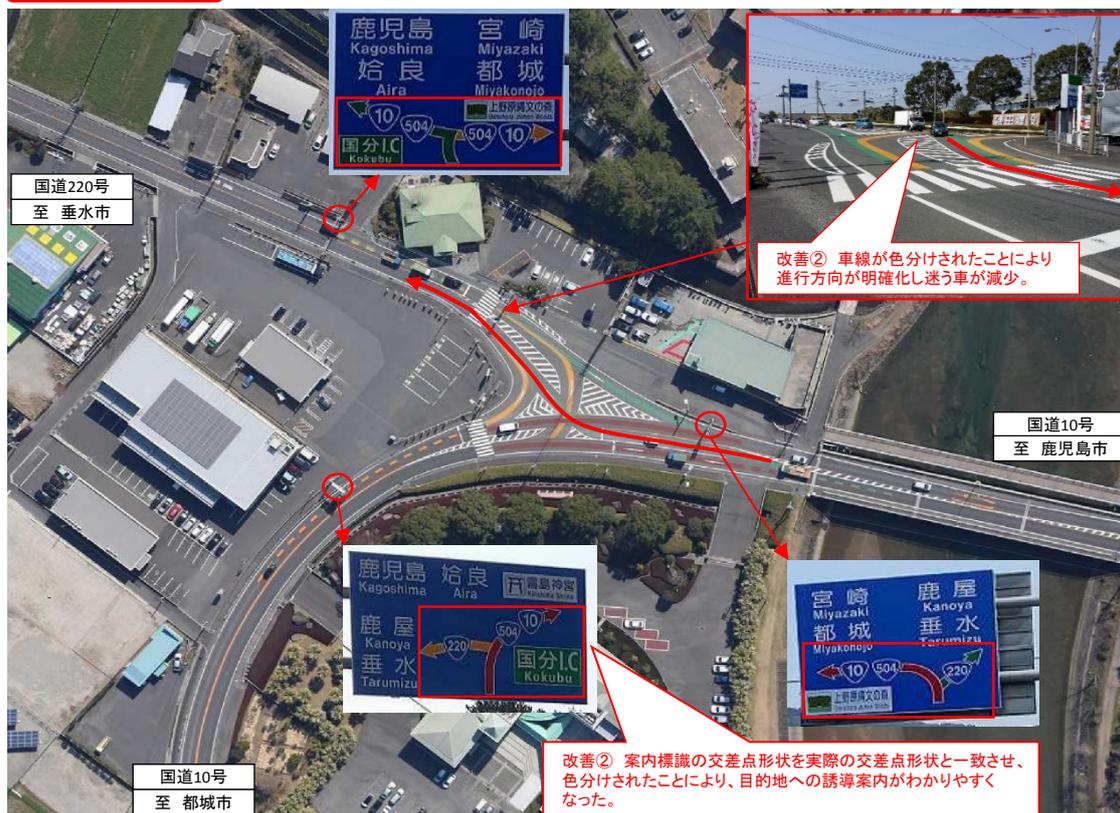


# 参考資料(2) 整備概要 鹿児島国道事務所

## ◇交差点改良前

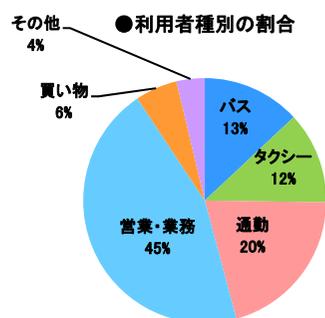


## ◇交差点改良後

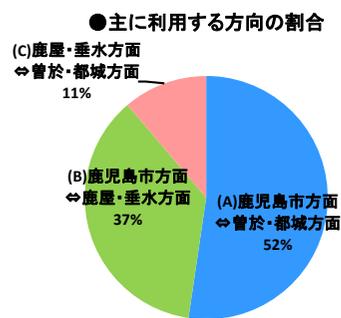


■ 利用者アンケート

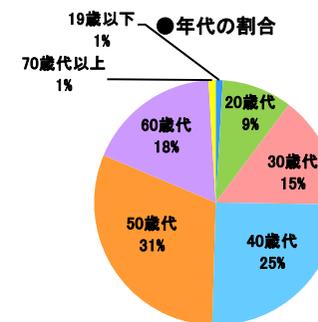
● アンケートにご協力いただいた方の構成



N=107



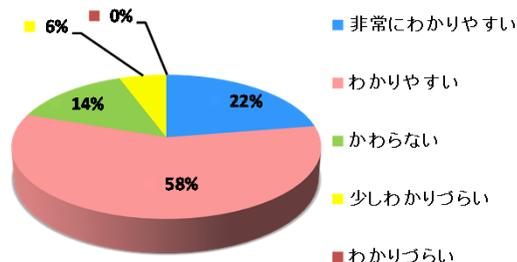
N=107



N=107

● 交差点改良後のわかりやすさ・安全度・満足度について

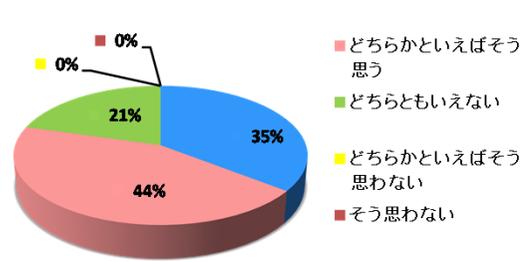
■ ドライバーへのわかりやすさの向上



80%がわかりやすくなったと回答

N=107

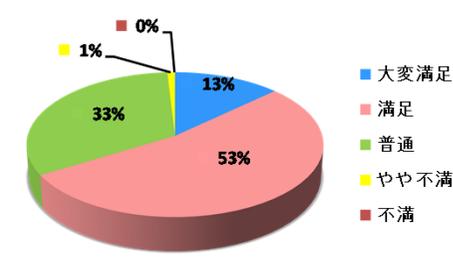
■ ドライバーへの安全性の向上



79%が安全性が向上したと回答

N=107

■ 交差点改良の満足度



66%が改良に満足していると回答

N=107

● 交差点改良についての意見紹介

【満足度の高い方の代表的な意見】

- 色分けがしてあるので、迷わず走れる。
- 色でわかりやすく表示されていると事故も減ってよい。
- 当該交差点を始めて通行する方にとっても安全に運転できるようになった。

交差点利用者（一般利用者・バス・タクシー運転手）へのアンケート調査を行った結果、

約8割の方が、わかりやすさ、安全性が向上し、約7割の方が満足していると実感している。